

目 次

はじめに

1	大気汚染の状況	1～ 6
2	水質汚濁の状況	7～ 9
3	騒音及び振動の状況	10～12
4	悪臭の状況	13
5	地盤沈下の状況	14
6	公害苦情の状況	15
7	キソガワフユユスリカ発生状況	16

関係資料

1	「河川水質調査結果」	1～15
2	「河川水質（工業団地）調査結果」	16～18



©稲沢市 いなッピー

はじめに

稲沢市は愛知県の西部、濃尾平野のほぼ中央に位置することから、比較的平坦な地形で、市の西端には木曾川が流れ、豊富な水量と肥沃な土壌、温かな気候に恵まれています。

平成17年4月1日に稲沢市・祖父江町・平和町が合併した新稲沢市は、東西約14.6km、南北約9.2km、面積79.35km²となり、令和5年3月末現在、人口は約13万3千人となっています。

古くから野菜、植木・苗木等の農業生産地として発展する一方、今日では、名古屋市から20km圏内の地理的な利便や公共交通機関の充実などから、大都市のベッドタウンであるとともに多様な産業が複合する都市です。

本市には手つかずの原自然は少ないものの、農用地や点在する池沼などまだ多くの豊かな自然環境が残されています。しかし、生活形態等の変化に伴い、都市生活型公害の増加、廃棄物の増大など様々な環境問題が顕在化していることから、多様化する現代社会における環境問題に適切に対応していくとともに環境汚染・自然環境破壊をくい止め、感染症の対応も含めた環境保全・環境保護を推進していくことが地球規模で迫られています。

平成30年度からは第6次稲沢市総合計画である『稲沢市ステージアッププラン』がスタートしました。本プランを推進するにあたっては、「ステージアップ稲沢」をスローガンとして掲げ、市民の皆様と新たな魅力ある稲沢市を目指しています。

また、令和元年度から10年間の計画期間である「第3次稲沢市環境基本計画」がスタートしました。

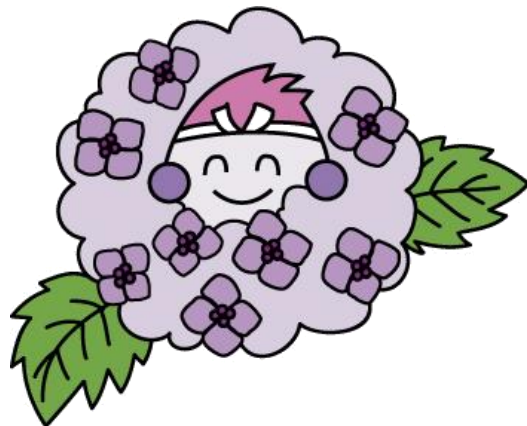
平成21年4月には「稲沢市快適で住みよいまちづくり条例」を施行しました。これは野焼きや路上喫煙、空き地の雑草など身近な生活環境の問題について、生活環境の保全及び美化の促進を図ることにより、住民の快適で住みよい生活環境の確保を目的としています。この条例の実効性を高めるため、平成21年11月に環境ボランティア「稲沢市さわやか隊」を結成しました。令和5年3月末現在、2,345人の隊員が地域の見回り活動を行っております。今後とも環境問題への取組を、推進してまいります。



©稲沢市 いなッピー

【関係資料】

- 1 「河川水質調査結果」 1 ～ 15
- 2 「河川水質(陸田工業団地)調査結果」 16 ～ 18



令和4年度稲沢市の環境

令和5年8月発行

編集・発行 稲沢市経済環境部環境保全課
〒492-8391
愛知県稲沢市中野川端町74番地
電話 0587-36-3710 (ダイヤルイン)
(環境センター内)



©稲沢市 いなッピー